2023年度（第68期）事業報告

2023年度（第68期）事業報告

財務諸表等　（1）貸借対照表

（2）貸借対照表内訳表

（3）損益計算書（正味財産増減計算書）

（4）正味財産増減計算書内訳表

（5）財務諸表に対する注記

（6）附属明細書

（7）財産目録

収支計算書　（1）収支計算書

（2）収支計算書に対する注記

2024年度（第69期）事業計画

2024年度（第69期）事業計画

収支予算書

維持会員一覧表

2024年5月

一般社団法人　日本トライボロジー学会

２０２３年度（第６８期）事業報告

自　　２０２３年４月　１日
至　　２０２４年３月３１日

１．会員の異動状況

会員の種類		本期末会員数	前期末会員数	差引増減
名誉会員		１７	１６	1
正会員		２２５７	２３１２	▲５５
学生会員		４０５	４４１	▲３６
維持会員	Ｓ級	5	4	1
	Ａ級	8	9	▲1
	Ｂ級	3	4	▲1
	Ｃ級	１２	１３	▲1
	Ｄ級	１４	１５	▲1
	Ｅ級	１２１	１１９	2
	合計	１６３	１６４	▲1
	公共会員	１０	１０	0

２．事業の状況

（１）行事

行事名	講演件数	参加者数	期日	開催方法
第 67 期 2022 年度評議委員会	-	50	2023.5.17	ハイブリッド（東京）
トライボロジー会議 2023 春 東京	182	842	2023.5.29-31	対面（東京）
第 67 期定時社員総会	-	1170	2023.5.30	対面（東京）
第 3 回学生会員向け企業情報提供 -トライボロジー企業先輩訪問-	19(企業)	40(学生)	2023.5.30	対面（東京）
摩擦の科学×謎解き体験学習	1	40	2023.6.10	対面（東京）
第 54 回トライボロジー入門講座	3	84	2023.7.13-14	ハイブリッド（東京）
Tribochemistry Beppu 2023	36	66	2023.9.22-24	対面（別府）
The 5th Japan-Taiwan Tribology Symposium 2023 (JTTS2023)	12	31	2023.9.24	対面（北九州）
9th International Tribology Conference, Fukuoka 2023 (ITC Fukuoka 2023)	676	975	2023.9.25-30	対面（福岡）
The 4th Czech-Japan Tribology Workshop	19	(ITC 併催)	2023.9.29-30	対面（福岡）
Early Career Tribologists Symposium (JAST-STLE Joint Session)	18	(ITC 併催)	2023.9.27-28	対面（福岡）
JAST-GfT Joint Symposium	4	(ITC 併催)	2023.9.26	ハイブリッド（福岡）
第 5 回トライボロジー応用講座【設計編】	1	27	2023.10.20	ハイブリッド（姫路）
☆第 1 回日本トライボロジー学会絵画コンテスト	-	19	2023.10.27	公募
第 13 回トライボロジー秋の学校 in 愛知	2	58	2023.10.30-31	対面（愛知）
第 5 回トライボロジー応用講座【実験・計測編】	1	47	2023.11.21	ハイブリッド（東京）

☆第1回子供向け企業見学会	2	15	2023.11.23	対面（東京）
第69回トライボロジー先端講座	4	43	2023.12.12	ハイブリッド（東京）
学生会員向け企業情報提供 －トライボロジー企業バーチャル先輩訪問 Web 開催－	13(企業)	15(学生)	2023.12.14	オンライン
第460回トライボロジー懇談会	1	20	2024.1.16	ハイブリッド（神奈川）
第16回トライボロジー入門西日本講座	3	27	2024.2.15-16	ハイブリッド（姫路）
第4回維持会員企業交流会	－	28	2024.3.11	対面（名古屋）
摩擦の科学×謎解き体験学習	1	32	2024.3.17	対面（東京）

☆初の取り組み

- トライボロジー会議2023春 東京は，2019春以来，4年ぶりに対面方式で開催した．講演件数は特別フォーラムを含めて182件，参加者数は842名であった．2015年以降の春のトライボロジー会議では最多の参加者数となり，活発に意見交換が行われた．昨年秋の福井では見送らざるを得なかった懇親会も開催し，交流を深めた．特別フォーラムでは，バーチャルリアリティに係わるテーマを東京工業大学の長谷川晶一様から，研究倫理に係わるテーマを公正研究推進協会の三木哲也様からご講演いただいた．なお，ハイブリッド方式の本格的な導入については，施設面と費用面などの問題で早期実現が難しく，引き続き課題となっている．
- 9th International Tribology Conference, Fukuoka 2023（ITC Fukuoka 2023）を開催し，世界各国から676件の講演と975名の参加者を得て，コロナ禍後のトライボロジー分野の国際交流における本会の存在感を示した．
- ITCに先立ち，第5回日本－台湾トライボロジーシンポジウムを開催した．また，ITCのシンポジウム企画として，第4回日本－チェコトライボロジーワークショップ，第2回 Early Career Tribologists Symposium（JAST-STLE Joint Session），JAST-GfT Joint Symposiumを開催した．
- 第68期に計画していた教育講座は，入門講座，応用講座【設計編】および【実験・計測編】，先端講座，懇談会，西日本入門講座をハイブリッド方式で開催し，若手の直接対話を重視する「秋の学校」を対面方式で開催した．ハイブリッド方式では現地参加者数の見積が難しく，適切な会場の確保が引き続き課題となっている．また，今期も各講座の受講者向けにアーカイブオンデマンド配信を期間限定で行い，好評であった．
- 先端講座では，メンテナンス・トライボロジー研究会の協力のもと，AE技術の基本と最新動向に関する講演と当該分野の企業展示を組み合わせた，新しい形式の講習会を開催した．
- トライボロジー分野の学生が本会維持会員企業の情報に接する機会を増やすことを目指し，「学生会員向け企業情報提供－トライボロジー企業先輩訪問－」を対面方式とオンライン方式で開催した．

（2）会　誌

会誌「トライボロジスト」，電子版トライボロジスト（J-STAGE に掲載），英文電子ジャーナル「Tribology Online」を発行した．

「トライボロジスト」は12回発行し，ページ数は本文901ページ（68巻4号～69巻3号）であった．特集として，「金型の高機能化を達成する新しいドライコーティング技術」，「ダイヤモンドの最新動向」，「自動車用パワートレインの先端技術動向」，「リファレンス オブ リファレンス－2023 年版－(1)」，「リファレンス オブ リファレンス－2023 年版－(2)」，「転がり軸受の疲労寿命に関する技術動向」，「電気接触とトライボロジー」，「トライボロジー分野におけるその場観察・可視化技術の進展と応用」，「ドローンに関わるトライボロジーとその周辺技術」，「研究会がリードするトライボロジー分野の最新動向」，「表面張力・表面力とトライボロジー」，「高分子添加剤・薄膜のトライボロジ

ー」を刊行した．また，「トライボロジーを語る」，「トライボエピソードー博士号取得ー，トライボエピソードー論文賞受賞ー，トライボエピソードー技術賞受賞ー，トライボエピソードー奨励賞受賞ー，トライボエピソードー学生奨励賞ー」の連載を継続した．今期の新しい取り組みとして，トライボロジー分野の最新技術動向に関する定期特集記事の掲載を開始し，研究会の活動内容の一端を紹介した．

Tribology Online は，Vol.18 Issue 2～Issue 7 および Vol.19 Issue 1 を発行し，ページ数は 637 ページであった．今期は，複数の特集号の企画（Special Issue on the 2022 JSME-IIP/ASME-ISPS Joint International Conference on Micromechatronics for Information and Precision Equipment (MIPE 2022), Special Issue on the 7th World Tribology Congress (WTC 2022), Special Issue on ITC Fukuoka 2023）により，昨期の 364 ページから大幅に増加した．

（3）研 究 会

第 68 期は，学会指定研究会(1)，産学協同研究会(4)，会員提案研究会(22)および地区研究会(2)の計 29 の研究会が活動を行った．

研　究　会　名	種　別	回　数	開催方法
カーボンニュートラルに寄与するトライボロジー技術	学会指定	3	ハイブリッド
添加剤技術	産学協同	5	対面
固体潤滑	産学協同	1	対面
グリース	産学協同	4	対面，ハイブリッド
転がり軸受寿命	産学協同	2	オンライン
エンジン潤滑	会員提案	1	オンライン
転がり疲れ	会員提案	1	オンライン
シール	会員提案	2	対面
ファイル記憶のトライボロジー	会員提案	0	―
摩耗	会員提案	2	対面
メンテナンス・トライボロジー	会員提案	1	ハイブリッド
塑性加工のトライボロジー	会員提案	2	ハイブリッド，対面
トライボケミストリー	会員提案	1	対面
自動車のトライボロジー	会員提案	2	ハイブリッド，対面
アルミニウムのトライボロジー	会員提案	2	対面
高分子材料のトライボロジー	会員提案	3	対面，オンライン
“超”を目指す軸受技術	会員提案	1	対面
スペーストライボロジー	会員提案	2	対面
分子シミュレーションのトライボロジーへの応用	会員提案	1	対面
変速機のトライボロジー	会員提案	2	対面
機能性コーティングの最適設計技術	会員提案	3	対面
テクスチャリング表面のトライボロジー	会員提案	2	対面
境界潤滑	会員提案	2	対面
工作機械のトライボロジー	会員提案	3	対面

トライボダイナミクス	会員提案	1	対面
表面力	会員提案	1	ハイブリッド
水素のトライボロジー	会員提案	2	対面
日本海トライボロジー	地 区	1	対面
北海道トライボロジー	地 区	1	オンライン

・ 2023 年度（第 68 期）に予定されていた研究会は，コロナ禍はほぼ収束した状況にあるものの，参加者の利便性に配慮し，対面，ハイブリッド，オンラインの各方式を適宜選択して実施された．また，各研究会のネットワークを活かし，他研究会との合同研究会の開催や他学会のシンポジウムへの協力など，アフターコロナの停滞感を打破する積極的な活動が展開された．
・ 学会指定研究会として，「カーボンニュートラルに寄与するトライボロジー技術」研究会が活動を開始した．同研究会は，過去，現在，未来にわたってカーボンニュートラルに寄与するトライボロジー技術を調査し，情報を整理して分野の方向性や課題を提案することを目的とする．また，主に関連の産業界の協力を得て報告書にまとめ，カーボンニュートラルに向けたトライボロジー分野の展開の一助とするとともに，社会におけるトライボロジーの認知度向上にも役立てる．
・ ファイル記憶のトライボロジー研究会は，対象とするデバイスを取り巻く状況をふまえて，研究会会員で今後の研究会のあり方について協議した結果，今期をもって活動を終了することとなった．

（4）学 会 賞

トライボロジー分野における功績と業績ならびに本会の活動への貢献に基づき，厳正な審査により，功績賞，論文賞，技術賞，奨励賞，学生奨励賞，教育貢献賞の選考を行った．なお，教育貢献賞は本分野の教育に格別の貢献のあった個人またはグループを表彰するもので，今期から公募を開始した新しい取り組みである．

功績賞：4 名
論文賞：5 件（17 名）
技術賞：4 件（15 名）
奨励賞：5 名
学生奨励賞：4 名
教育貢献賞：1 名

（5）主な取り組み

本会の業務効率化と事業経費抑制の観点から，コラボレーションプラットフォームとして，Microsoft Teams の利用を開始した．理事会，各委員会，各研究会は，Microsoft Teams を活用しつつ，下記の活動に取り組んだ．

〔会員向けのサービス面〕

・ トライボロジー会議 2024 秋名護の開催準備を推進した．また，2025 秋の開催地を北海道函館市に定め，実行委員会立ち上げの準備を開始した．
・ DX 化に関する学会の基本方針を策定し，デジタル著作物による会員サービスの向上を実現することを目的として，「デジタル著作物と 70 周年記念事業に関する臨時委員会」が発足した．活動を開始するにあたり，トライボロジーハンドブックの出版社の決定，デジタル著作物の取り扱い方針の決定，DX 化の導入による財務改善と会員増強の検討，トライボロジストの頒布形態の検討，70 周年

記念事業の具体化などを，課題として設定した．

- トライボロジーハンドブックの改訂に向け，編集委員会と各章の主査が中心となって目次案を策定し，各項目担当者への執筆依頼を完了した．
- 技術論文のオープン化への対応ならびに Tribology Online の英論文の著作権方針との不整合を是正する目的で，トライボロジストの和論文も，クリエイティブ・コモンズ・ライセンスのルールに準拠する準備を推進している．
- 各研究会が所掌分野における最新動向および今後の展望に関する解説記事を執筆し，2024 年 1 月号のトライボロジストに寄稿した．本企画は，全ての研究会が 2 年に 1 度執筆するペースで，今後も継続する．
- 教育活動に貢献した会員の業績・功績を表彰するための教育貢献賞の公募・選考を開始した．
- 学会活動に貢献した会員の業績・功績を表彰するための学会活動貢献賞の新設準備を行い，功績賞の選考方法の見直しを実施した．
- 評議委員になる機会の少ない維持会員との意見交換を目的とした維持会員企業交流会を，第 67 期に引き続き，名古屋大学で開催した．今後は維持会員からのニーズをふまえて新しい形式での開催も検討する．
- 講習会や研究会などのイベント情報をホームページとメールマガジンを通して積極的に発信した．

〔本会のプレゼンス向上〕

- Tribology Online（TROL）のジャーナルインパクトファクタ（JIF）取得に向けた活動の成果により，本年に TROL の 2022 年の JIF が公開され，その値は 1.0 であった．オープンアクセスジャーナルの投稿料の高騰化が進む中，投稿料の負担を強いない TROL は国際的な成果発信の場として貴重な存在であり，この強みを活かしつつ，今後も特集号の発行やレビュー記事の企画など，JIF の更なる増加に向けた取り組みを推進する．
- 国内でのトライボロジストの増加およびトライボロジーの発展を最終目標に，次世代教育活動を継続した．東京大学生産技術研究所 次世代育成オフィスとの連携のもと，摩擦の科学×謎解き理科教室を 2 回開催し，好評であった．また，子供向けイベントを充実させるため，新たに絵画コンテストと㈱IHI の企業見学会を実施した．他機関との連携においては，神奈川県立青少年センター主催の「子どもサイエンスフェスティバル相模原大会」に本会ブースを出展した．
- 第 17 回機械系関連学協会会長懇談会の主催学会を務め，2 年ぶりに対面方式の懇談会を開催し，学協会同士の最新の情報共有，密な意見交換，交流の深化に貢献した．

〔運営の効率化・健全化〕

- 会員が長期的に減少傾向にあることに加え，諸経費の高騰化も進んでいることから，財務状況の見直しを再度実施し，改善案を策定・推進した．
- コラボレーションプラットフォームとして，Microsoft Teams の運用を開始し，運用ガイドラインを策定した．
- 事務局職員の働き方改革を目的として，就業規則を改定し，各種労働協定の締結に向けた準備を行った．また，スマートフォンと Microsoft Teams の全面的な導入により，連絡体制の改善を推進した．
- 事務作業の負担を勘案して入会金を廃止し，関連規定類を改定した．
- 研究会の会計処理の抜本的な見直しを行い，会計処理ガイドラインを改定し，電子帳簿保存法とインボイス制度に対応した．
- インボイス制度に対応するためのシステム改修を行った．
- 理事会において，討議の時間の確保を目的として，議事進行の効率化に取り組んだ．

Ⅰ財務諸表等

（１）貸借対照表

貸借対照表

2024年 3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	61,383,447	42,117,646	19,265,801
仮払金	4,060,563	3,883,720	176,843
未収入金	1,008,500	1,556,700	△ 548,200
前払費用	272,244	129,000	143,244
流動資産合計	66,724,754	47,687,066	19,037,688
２．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
国際会議積立資産	45,869,006	45,869,006	0
潤滑技術積立資産	52,309,173	52,307,842	1,331
退職給付引当資産	1,851,528	1,323,046	528,482
特定資産合計	100,029,707	99,499,894	529,813
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	10,512,843	14,207,085	△ 3,694,242
敷金	1,046,040	1,046,040	0
その他固定資産合計	11,558,883	15,253,125	△ 3,694,242
固定資産合計	116,588,590	119,753,019	△ 3,164,429
資産合計	183,313,344	167,440,085	15,873,259
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	5,515,943	2,338,600	3,177,343
未払費用	1,147,140	1,106,512	40,628
前受金	1,188,000	376,000	812,000
前受会費	3,582,600	3,905,700	△ 323,100
仮受金	0	9,600	△ 9,600
流動負債合計	11,433,683	7,736,412	3,697,271
２．固定負債			
退職給付引当金	1,851,528	1,323,046	528,482
固定負債合計	1,851,528	1,323,046	528,482
負債合計	13,285,211	9,059,458	4,225,753
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	600,000	600,000	0
（うち基本財産への充当額）	600,000	600,000	0
２．一般正味財産	169,428,133	157,780,627	11,647,506
（うち基本財産への充当額）	4,400,000	4,400,000	0
（うち特定資産への充当額）	98,178,179	98,176,848	1,331
正味財産合計	170,028,133	158,380,627	11,647,506
負債及び正味財産合計	183,313,344	167,440,085	15,873,259

（２）貸借対照表内訳表

貸借対照表内訳表

2024年 3月31日現在

（単位：円）

科　　目	会誌および図書の発行	講座・セミナー育成	法人会計	内部取引消去	合計
Ⅰ　資産の部					
１．流動資産					
現金預金	0	0	61,383,447	0	61,383,447
仮払金	0	0	4,060,563	0	4,060,563
未収入金	1,008,500	0	0	0	1,008,500
前払費用	0	0	272,244	0	272,244
流動資産合計	1,008,500	0	65,716,254	0	66,724,754
２．固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	0	0	5,000,000	0	5,000,000
基本財産合計	0	0	5,000,000	0	5,000,000
(2) 特定資産					
国際会議積立資産	0	0	45,869,006	0	45,869,006
潤滑技術積立資産	0	0	52,309,173	0	52,309,173
退職給付引当資産	0	0	1,851,528	0	1,851,528
特定資産合計	0	0	100,029,707	0	100,029,707
(3) その他固定資産					
ソフトウェア	0	0	10,512,843	0	10,512,843
敷金	0	0	1,046,040	0	1,046,040
その他固定資産合計	0	0	11,558,883	0	11,558,883
固定資産合計	0	0	116,588,590	0	116,588,590
資産合計	1,008,500	0	182,304,844	0	183,313,344
Ⅱ　負債の部					
１．流動負債					
未払金	1,513,488	0	4,002,455	0	5,515,943
未払費用	0	0	1,147,140	0	1,147,140
前受金	0	0	1,188,000	0	1,188,000
前受会費	0	0	3,582,600	0	3,582,600
流動負債合計	1,513,488	0	9,920,195	0	11,433,683
２．固定負債					
退職給付引当金	0	0	1,851,528	0	1,851,528
固定負債合計	0	0	1,851,528	0	1,851,528
負債合計	1,513,488	0	11,771,723	0	13,285,211
Ⅲ　正味財産の部					
１．指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	600,000	0	600,000
（うち基本財産への充当額）	0	0	600,000	0	600,000
２．一般正味財産	△ 504,988	0	169,933,121	0	169,428,133
（うち基本財産への充当額）	0	0	4,400,000	0	4,400,000
（うち特定資産への充当額）	0	0	98,178,179	0	98,178,179
正味財産合計	△ 504,988	0	170,533,121	0	170,028,133
負債及び正味財産合計	1,008,500	0	182,304,844	0	183,313,344

（３）正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	154	164	△ 10
入会金収入	61,000	55,500	5,500
会費収入	48,449,800	49,382,700	△ 932,900
正会員会費収入	19,766,400	20,534,100	△ 767,700
維持会員会費	28,480,000	28,600,000	△ 120,000
公共会員会費	203,400	248,600	△ 45,200
事業収益	109,949,411	27,582,296	82,367,115
出版物頒布収入	1,157,254	1,238,983	△ 81,729
広告料収入	4,165,000	4,730,500	△ 565,500
講演会・講習会収入	97,005,645	19,065,650	77,939,995
印税収入	736,802	775,153	△ 38,351
研究会収入	6,884,710	1,772,010	5,112,700
雑収益	73,378	21,299	52,079
受取利息	1,365	1,229	136
雑収入	72,013	20,070	51,943
経常収益計	158,533,743	77,041,959	81,491,784
(2) 経常費用			
事業費	102,011,790	36,901,708	65,110,082
会誌出版事業費	19,080,737	20,052,487	△ 971,750
研究会費用	7,981,432	1,269,887	6,711,545
講演会講習会費用	66,945,876	10,403,030	56,542,846
英文オンライン出版費	4,509,890	2,786,520	1,723,370
会議費	3,493,855	2,389,784	1,104,071
管理費	44,874,447	41,028,790	3,845,657
給与手当	21,740,981	22,318,989	△ 578,008
退職給付費用	528,482	540,033	△ 11,551
外注費	2,135,540	2,135,540	0
会議費	1,959,184	1,644,835	314,349
表彰関連費用	953,810	890,362	63,448
維持会員企業交流会	128,721	202,872	△ 74,151
機械系学協会会長懇談会幹事	159,380	0	159,380
通信運搬費	1,044,171	1,017,617	26,554
消耗品費	307,319	456,998	△ 149,679
印刷製本費	350,402	349,233	1,169
共益費	815,796	813,184	2,612
賃借料	2,674,116	2,674,116	0
租税公課	3,112,900	72,200	3,040,700
負担金支出	1,881,844	1,884,936	△ 3,092
リース料	1,350,624	1,353,190	△ 2,566
支払手数料	896,972	930,893	△ 33,921
減価償却費	4,804,417	3,630,800	1,173,617
雑費	29,788	112,992	△ 83,204
経常費用計	146,886,237	77,930,498	68,955,739
評価損益等調整前当期経常増減額	11,647,506	△ 888,539	12,536,045
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	11,647,506	△ 888,539	12,536,045
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	11,647,506	△ 888,539	12,536,045
一般正味財産期首残高	157,780,627	158,669,166	△ 888,539
一般正味財産期末残高	169,428,133	157,780,627	11,647,506
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	600,000	600,000	0
指定正味財産期末残高	600,000	600,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	170,028,133	158,380,627	11,647,506

（４）正味財産増減計算書内訳表

正味財産増減計算書内訳表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

（単位：円）

科　　目	会誌および図書の発行	講座・セミナー育成	法人会計	内部取引消去	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部					
１．経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用収入	0	0	154	0	154
入会金収入	0	0	61,000	0	61,000
会費収入	0	0	48,449,800	0	48,449,800
正会員会費収入	0	0	19,766,400	0	19,766,400
維持会員会費	0	0	28,480,000	0	28,480,000
公共会員会費	0	0	203,400	0	203,400
事業収益	6,059,056	103,890,355	0	0	109,949,411
出版物頒布収入	1,157,254	0	0	0	1,157,254
広告料収入	4,165,000	0	0	0	4,165,000
講演会・講習会収入	0	97,005,645	0	0	97,005,645
印税収入	736,802	0	0	0	736,802
研究会収入	0	6,884,710	0	0	6,884,710
雑収益	0	0	73,378	0	73,378
受取利息	0	0	1,365	0	1,365
雑収入	0	0	72,013	0	72,013
経常収益計	6,059,056	103,890,355	48,584,332	0	158,533,743
(2) 経常費用					
事業費	25,541,835	76,469,955	0	0	102,011,790
会誌出版事業費	19,080,737	0	0	0	19,080,737
研究会費用	0	7,981,432	0	0	7,981,432
講演会講習会費用	0	66,945,876	0	0	66,945,876
英文オンライン出版費	4,509,890	0	0	0	4,509,890
会議費	1,951,208	1,542,647	0	0	3,493,855
管理費	0	0	44,874,447	0	44,874,447
給与手当	0	0	21,740,981	0	21,740,981
退職給付費用	0	0	528,482	0	528,482
外注費	0	0	2,135,540	0	2,135,540
会議費	0	0	1,959,184	0	1,959,184
表彰関連費用	0	0	953,810	0	953,810
維持会員企業交流会	0	0	128,721	0	128,721
機械系学協会会長懇談会幹事	0	0	159,380	0	159,380
通信運搬費	0	0	1,044,171	0	1,044,171
消耗品費	0	0	307,319	0	307,319
印刷製本費	0	0	350,402	0	350,402
共益費	0	0	815,796	0	815,796
賃借料	0	0	2,674,116	0	2,674,116
租税公課	0	0	3,112,900	0	3,112,900
負担金支出	0	0	1,881,844	0	1,881,844
リース料	0	0	1,350,624	0	1,350,624
支払手数料	0	0	896,972	0	896,972
減価償却費	0	0	4,804,417	0	4,804,417
雑費	0	0	29,788	0	29,788
経常費用計	25,541,835	76,469,955	44,874,447	0	146,886,237
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 19,482,779	27,420,400	3,709,885	0	11,647,506
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 19,482,779	27,420,400	3,709,885	0	11,647,506
２．経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 19,482,779	27,420,400	3,709,885	0	11,647,506
他会計振替額	△ 19,373,306	27,420,400	△ 8,047,094	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 109,473	0	11,756,979	0	11,647,506
一般正味財産期首残高	△ 395,515	0	158,176,142	0	157,780,627
一般正味財産期末残高	△ 504,988	0	169,933,121	0	169,428,133
Ⅱ　指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	600,000	0	600,000
指定正味財産期末残高	0	0	600,000	0	600,000
Ⅲ　正味財産期末残高	△ 504,988	0	170,533,121	0	170,028,133

（５）財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)　固定資産の減価償却の方法
　　ソフトウェア
　　定額法によっている。
(2)　引当金の計上基準
　　退職給付引当金
　　職員の退職給付に備えるため、当年度末における要支給額に基づき計上している。
(3)　リース取引の処理方法
　　リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理方法によっている。
(4)　消費税等の会計処理
　　税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小　　計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
国際会議積立資産	45,869,006	0	0	45,869,006
潤滑技術積立資産	52,307,842	1,331	0	52,309,173
退職給付引当資産	1,323,046	528,482	0	1,851,528
小　　計	99,499,894	529,813	0	100,029,707
合　　計	104,499,894	529,813	0	105,029,707

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
定期預金	5,000,000	(600,000)	(4,400,000)	(　　0)
小　　計	5,000,000	(600,000)	(4,400,000)	(　　0)
特定資産				
国際会議積立資産	45,869,006	(　　0)	(45,869,006)	(　　0)
潤滑技術積立資産	52,309,173	(　　0)	(52,309,173)	(　　0)
退職給付引当資産	1,851,528	(　　0)	(　　0)	(1,851,528)
小　　計	100,029,707	(　　0)	(98,178,179)	(1,851,528)
合　　計	105,029,707	(600,000)	(102,578,179)	(1,851,528)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。　（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	24,577,173	14,064,330	10,512,843
合　　計	24,577,173	14,064,330	10,512,843

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。　（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
国際会議開催助成金	公益財団法人 金型技術復興財団	－	400,000	400,000	－
福岡市助成金（国際会議）	福岡県福岡市	－	2,500,000	2,500,000	－
助成金（国際会議）	NSKメカトロニクス技術高度化財団	－	500,000	500,000	－
助成金（国際会議）	日本機械学会	－	110,000	110,000	－
助成金（国際会議）	大分県別府市	－	749,000	749,000	－
助成金（活動支援）	日本機械学会北陸信越支部	－	10,000	10,000	－
合　　計		－	4,269,000	4,269,000	－

（６）附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているため、記載を省略している。

2. 引当金の明細　（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	1,323,046	528,482	0	0	1,851,528

（７）財産目録

財産目録

2024年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量・使用目的等	金　額
(流動資産)		
	現金	0
	普通預金	47,780,779
	みずほ銀行虎ノ門支店	44,574,696
	三菱UFJ銀行本店	3,206,083
	郵便貯金	2,239,078
	振替貯金	8,363,590
	定期貯金	3,000,000
	ゆうちょ銀行	3,000,000
	仮払金	4,060,563
	切手残高	7,936
	会員提案研究会	3,975,372
	地区研究会	77,255
	未収入金	1,008,500
	会誌出版費(別刷り代)	105,000
	広告料収入	903,500
	前払費用	272,244
	トライボロジー会議2024春	95,040
	東京経営管理協会	49,500
	化学情報協会年会費	2,000
	第11回日中トライボロジー先端フォーラム	125,704
流動資産合計		66,724,754
(固定資産)		
基本財産	定期預金	5,000,000
	三井信託銀行本店	5,000,000
特定資産	国際会議積立資産	45,869,006
	三菱UFJ銀行本店	45,869,006
	潤滑技術積立資産	52,309,173
	みずほ銀行虎ノ門支店	52,309,173
	退職給付引当資産	1,851,528
	みずほ銀行神谷町支店	1,851,528
その他固定資産	ソフトウェア	10,512,843
	敷金	1,046,040
固定資産合計		116,588,590
資産合計		183,313,344
(流動負債)		
	未払金	5,515,943
	会誌出版費	1,513,488
	業務管理システム (EM/PM)利用料	396,000
	会員管理システム 利用料	171,105
	コピー費用	22,904
	消費税	3,039,300
	電話代	39,490
	その他	333,656
	未払費用	1,147,140
	未払賞与	1,147,140
	前受金	1,188,000
	参加登録料日中先端フォーラム	670,000
	トライボロジー会議2024春	518,000
	前受会費	3,582,600
	正会員会費	1,800,000
	維持会員会費	1,760,000
	公共会員会費	22,600
流動負債合計		11,433,683
(固定負債)		
	退職給付引当金	1,851,528
固定負債合計		1,851,528
負債合計		13,285,211
正味財産		170,028,133

Ⅱ収支計算書
（１）収支計算書

収支計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

（単位：円）

科　　目	決算額
Ⅰ　事業活動収支の部	
１．事業活動収入	
基本財産運用収入	154
入会金収入	61,000
会費収入	48,449,800
正会員会費収入	19,766,400
維持会員費収入	28,480,000
公共会員費収入	203,400
事業収入	109,949,411
出版物頒布収入	1,157,254
広告料収入	4,165,000
講演会講習会収入	97,005,645
印税収入	736,802
研究会収入	6,884,710
雑収入	72,047
受取利息	34
雑収入	72,013
事業活動収入計	158,532,412
２．事業活動支出	
事業費支出	102,011,790
会誌出版事業費	19,080,737
研究会支出	7,981,432
講演会講習会支出	66,945,876
英文オンライン出版費	4,509,890
会議費	3,493,855
管理費支出	39,541,548
給与手当	21,740,981
外注費	2,135,540
会議費	1,959,184
表彰関連支出	953,810
維持会員企業交流会	128,721
機械系学協会会長懇談会幹事	159,380
通信運搬費	1,044,171
消耗品費	307,319
印刷製本費	350,402
共益費	815,796
賃借料	2,674,116
租税公課	3,112,900
負担金支出	1,881,844
リース料	1,350,624
支払手数料	896,972
雑費	29,788
事業活動支出計	141,553,338
事業活動収支差額	16,979,074
Ⅱ　投資活動収支の部	
１．投資活動収入	
投資活動収入計	0
２．投資活動支出	
特定資産取得支出	528,482
退職給付引当資産取得支出	528,482
固定資産取得支出	1,110,175
ソフトウェア取得支出	1,110,175
投資活動支出計	1,638,657
投資活動収支差額	△ 1,638,657
Ⅲ　財務活動収支の部	
１．財務活動収入	
財務活動収入計	0
２．財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
Ⅳ　予備費支出	----------
当期収支差額	15,340,417
前期繰越収支差額	39,950,654
次期繰越収支差額	55,291,071

（２）収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、下記の科目を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

現金預金
仮払金
未収入金
前払費用
未払金
未払費用
前受金
前受会費
仮受金

２．次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	42,117,646	61,383,447
仮払金	3,883,720	4,060,563
未収入金	1,556,700	1,008,500
前払費用	129,000	272,244
合　　計	47,687,066	66,724,754
未払金	2,338,600	5,515,943
未払費用	1,106,512	1,147,140
前受金	376,000	1,188,000
前受会費	3,905,700	3,582,600
仮受金	9,600	0
合　　計	7,736,412	11,433,683
次期繰越収支差額	39,950,654	55,291,071

２０２４年度（第６９期）事業計画

１．行 事 予 定

行　事　名	期　日	開催方法 開催場所	摘　要
第 11 回日中トライボロジー先端フォーラム	2024.4.14-16	対面（姫路）	第 11 回
第 68 期 2023 年度評議委員会	2024.5.16	ハイブリッド（東京）	
第 68 期定時社員総会	2024.5.28	対面（東京）	
トライボロジー会議 2024 春東京	2024.5.27-29	対面（東京）	
トライボロジー入門講座	2024.7.11-12	ハイブリッド（東京）	第 55 回
6th Malaysia-Japan Tribology Symposium	2023.8.29-30	対面（マレーシア）	第 6 回
トライボロジー会議 2024 秋名護	2024.10.30-11.1	対面（名護）	
第 5 回日韓トライボロジーシンポジウム	2024.10.30-11.1	対面（名護）	第 5 回
ヤングトライボロジストシンポジウム	2024.10.30-11.1	対面（名護）	
トライボロジー秋の学校	2024 秋予定	対面（未定）	第 14 回
トライボロジー応用講座【設計編】【実験・計測編】	2024 秋予定	ハイブリッド（未定）	第 6 回
トライボロジー先端講座	2024 秋予定	ハイブリッド（未定）	第 70 回
学生会員向け企業情報提供 －トライボロジー企業バーチャル先輩訪問－	2024.12 月予定	オンライン	第 5 回
トライボロジー懇談会	2025.1 月予定	ハイブリッド（未定）	第 461 回
トライボロジー入門西日本講座	2025.2 月予定	ハイブリッド（未定）	第 17 回
摩擦の科学×謎解き体験学習	2025.3 月予定	対面（東京）	
維持会員企業交流会	未定	未定	第 5 回

・トライボロジー会議 2024 春東京ならびにトライボロジー会議 2024 秋名護は対面方式で開催する．教育講座は基本的にハイブリッド方式で開催する．
・トライボロジー会議 2024 秋名護では，若手同士が交流を深める機会として，ヤングトライボロジストシンポジウムを開催する．
・国際交流に関しては，第 11 回日中トライボロジー先端フォーラム，6th Malaysia-Japan Tribology Symposium，第 5 回日韓トライボロジーシンポジウムを開催する．

２．会　誌

会誌「トライボロジスト」を毎月発行する．特集は，「カーボンニュートラルに貢献する自動車エンジンの機械要素部品」，「フラーレン添加油に関する研究事例と将来展望」，「高機能材料の最新動向とトライボロジー応用の可能性」，「圧縮機に関わるトライボロジー」，「触覚技術とトライボロジー」，「トライボロジーにおける IoT，AI の進展と活用事例」，「カーボンニュートラルに貢献する転がり軸受の技術動向」，「炭素系ナノ材料が切り拓くトライボロジー」，「摩擦面の最新分析技術」，「研究会がリードするトライボロジー分野の最新動向（2025）」，「自動車の電動化とトライボロジー（仮）」，「次世代の燃料、潤滑油（仮）」を計画している．

Tribology Online は，例年どおりの年間 4 号以上を発行する．

3．研　究　会

各研究会の活動内容の見える化ならびに研究戦略や将来展望などの情報の共有化を目的に，トライボロジスト1月号での定期特集記事化を継続する．

学会指定研究会：カーボンニュートラルに寄与するトライボロジー技術
産学協同研究会：添加剤技術，固体潤滑，グリース，転がり軸受寿命
会員提案研究会：エンジン潤滑，転がり疲れ，シール，摩耗，メンテナンス・トライボロジー，塑性加工のトライボロジー，トライボケミストリー，自動車のトライボロジー，アルミニウムのトライボロジー，高分子材料のトライボロジー，“超”を目指す軸受技術，スペーストライボロジー，分子シミュレーションのトライボロジーへの応用，変速機のトライボロジー，機能性コーティングの最適設計技術，テクスチャリング表面のトライボロジー，境界潤滑，工作機械のトライボロジー，トライボダイナミクス，表面力，水素のトライボロジー
地区研究会：日本海トライボロジー，北海道トライボロジー

4．学　会　賞

トライボロジー分野における功績と業績ならびに本会の活動への貢献に基づき，功績賞，論文賞，技術賞，奨励賞，学生奨励賞，教育貢献賞，学会活動貢献賞の選考を行う．なお，学会活動貢献賞は本会の運営に多大な貢献のあった個人を表彰するものであり，第69期から公募を開始する新しい取り組みである．

5．主な取り組み

会員サービスの更なる向上，本会のプレゼンス向上，運営の効率化・健全化に向けて，下記の活動に取り組む．

〔会員向けのサービス面〕

・「デジタル著作物と70周年記念事業に関する臨時委員会」が中心となり，論文，解説記事，予稿集，トライボロジーハンドブックについて，デジタル著作物による会員サービスの向上を図る．それらの取り組みを広く周知する機会として，70周年に向けた広報活動を推進する．
・トライボロジーハンドブック改訂版と潤滑グリースの基礎と応用改訂版の第70期での発刊に向けて，編集活動と出版準備を推進する．また，現在の状況をふまえて，書籍出版計画を更新する．
・トライボロジー会議2024春東京において，より多くの参加者を募る方策として，メタバース空間とVRChatの活用に関する企画を実行し，託児所利用補助を試行する．また，トライボロジー会議におけるハイブリッド方式の本格的な導入の実現性についても，引き続き検討する．
・講習会等はハイブリッド方式での開催を継続し，参加者の満足度を確保しながら経費削減に努める．また，ラボツアー，VR活用，企業展示などにより，現地参加の魅力向上を検討する．
・本会の運営に貢献した会員を表彰する学会活動貢献賞の公募・選考を開始する．
・若手トライボロジストの交流の場を定期的に提供し，若手会員の増強ならびに本会活動の活性化を目指す．
・本会の英語版ホームページを更新・拡充し，本会の国際的プレゼンス向上を図る．

〔本会のプレゼンス向上〕

・次世代教育活動の一環として，体験学習，絵画コンテスト，企業見学会，他機関主催行事への出展など，多様な取り組みを継続する．

・機械系関連学協会，教育機関，科学館など，他学協会・他機関との連携強化に努める．
・Tribology Online のジャーナルインパクトファクタの更なる増加を図る．特集号の発行やレビュー記事の企画などと併せて，校閲プロセスの一層の効率化と迅速化を推進し，より質に優れた論文の掲載を目指す．
・海外の主要な学会（STLE, GfT）との連携強化および主要な国際会議（WTC, Asiatrib, STLE annual meeting, Leeds-Lyon）における本会のプレゼンス向上を目指し，関係者と引き続き協議を行う．
・STLE と Early Career Tribologists Symposium の合同開催について引き続き協議する．第 11 回日中トライボロジー先端フォーラムを 5 月に姫路にて開催する．6th Malaysia-Japan Tribology Symposium 2024 を 8 月にマレーシアにて開催する．第 5 回日韓トライボロジーシンポジウムを名護にてトライボロジー会議 2024 秋名護のシンポジウムとして開催する．

〔運営の効率化・健全化〕
・「デジタル著作物と 70 周年記念事業に関する臨時委員会」が中心となり，DX 化に関する学会の基本方針を策定し，デジタル著作物による会員サービスの向上を実現することを目指す．また，財務委員会による財務改善と臨時委員会による DX 化の連携のもと，財務強化活動を推進する．
・IT システムへの投資効果を高めるために，システム改修の長期計画を立案する．第 69 期は，電子帳簿保存法対応，ホームページ管理ソフトウェアの更新およびサーバの移転を実施する予定．
・トライボロジストの電子化による経費の削減について検討する．
・Tribology Online の投稿料の将来的な有料化について検討する．
・本会の運営の改善や変更に伴い，規程類の見直しを随時行うとともに，最新の規程類が円滑に浸透する良好なガバナンス状態を目指す．

収支予算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予算額	前年度予算額	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収入	163	160	3
入会金収入	0	50,000	△ 50,000
会費収入	48,986,000	49,066,000	△ 80,000
正会員会費収入	20,160,000	20,160,000	0
維持会員会費	28,600,000	28,680,000	△ 80,000
公共会員会費	226,000	226,000	0
事業収益	42,056,940	103,060,500	△ 61,003,560
出版物頒布収入	480,000	530,000	△ 50,000
広告料収入	4,500,000	4,700,000	△ 200,000
講演会・講習会収入	32,677,900	93,753,500	△ 61,075,600
印税収入	1,058,040	736,000	322,040
研究会収入	3,341,000	3,341,000	0
雑収益	11,241	17,800	△ 6,559
受取利息	45	800	△ 755
雑収入	11,196	17,000	△ 5,804
経常収益計	91,054,344	152,194,460	△ 61,140,116
(2) 経常費用			
事業費	63,085,378	102,311,247	△ 39,225,869
会誌出版事業費	16,150,000	17,150,000	△ 1,000,000
研究会費用	4,325,000	4,500,000	△ 175,000
講演会講習会費用	23,613,622	70,997,687	△ 47,384,065
図書出版費	9,675,000	371,700	9,303,300
英文オンライン出版費	4,500,000	4,500,000	0
会議費	4,821,756	4,791,860	29,896
管理費	52,450,783	48,386,780	4,064,003
給与手当	21,537,000	22,296,500	△ 759,500
退職給付費用	550,000	554,000	△ 4,000
外注費	2,091,540	1,750,000	341,540
会議費	3,228,100	3,417,280	△ 189,180
表彰関連費用	1,100,000	1,200,000	△ 100,000
システム構築費	5,976,229	130,000	5,846,229
維持会員企業交流会	150,000	210,000	△ 60,000
若手ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ	200,000	176,000	24,000
ﾄﾗｲﾎﾞﾛｼﾞｰﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ	0	50,000	△ 50,000
機械系学協会会長懇談会幹事	0	180,000	△ 180,000
旅費交通費	70,000	70,000	0
通信運搬費	1,300,000	1,100,000	200,000
消耗品費	500,000	600,000	△ 100,000
印刷製本費	330,000	300,000	30,000
共益費	910,000	813,000	97,000
賃借料	2,980,000	2,680,000	300,000
租税公課	1,000,000	2,550,000	△ 1,550,000
負担金支出	2,620,000	2,100,000	520,000
リース料	1,500,000	1,360,000	140,000
支払手数料	1,100,000	1,000,000	100,000
減価償却費	4,157,914	4,700,000	△ 542,086
雑費	150,000	150,000	0
予備費	1,000,000	1,000,000	0
経常費用計	115,536,161	150,698,027	△ 35,161,866
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 24,481,817	1,496,433	△ 25,978,250
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 24,481,817	1,496,433	△ 25,978,250

維持会員一覧表

（五十音順　2024年3月31日現在）

会員名	級	会員名	級
アート金属工業（株）	E	キーパー（株）	E
Rtec-Instruments(株)	E	協同油脂（株）	B
（株）ＩＨＩ	A	ＫＹＢ（株）	E
（株）アイシン	E	（株）小桜商会	E
愛知製鋼（株）	E	コスモ石油ルブリカンツ（株）	A
アクロス（株）	E	（株）小松製作所	D
旭精機工業（株）	E	三協オイルレス工業（株）	E
アズビルＴＡＣＯ（株）	E	三洋化成工業（株）	C
（株）ＡＤＥＫＡ	E	山陽特殊製鋼（株）	E
（株）アドヴィックス	E	三洋貿易（株）	E
アフトンケミカル・ジャパン（株）	E	ＧＳカルテックス	E
（株）天辻鋼球製作所	E	シーエルシー（株）	E
（株）荒井製作所	E	ＪＦＥスチール（株）	D
イーグル工業（株）	D	（株）ジェイテクト	S
いすゞ自動車（株）	C	シェフラージャパン（株）	E
出光興産（株）	S	シェブロンジャパン（株）	B
井上軸受工業（株）	E	シェルルブリカンツジャパン（株）	A
インフィニアム ジャパン（株）	C	島貿易（株）	E
エイヴィエルジャパン(株)	E	下西技研工業（株）	E
ＳＣＳＫ（株）	E	ジヤトコ（株）	E
（株）エクセディ	E	（一社）潤滑油協会	E
エスティーティー（株）	E	神鋼造機（株）	D
ＮＳＫワーナー（株）	E	新日本理化（株）	E
ＮＯＫ（株）	A	日鉄ケミカル＆マテリアル（株）	C
ＮＯＫクリューバー（株）	E	スギムラ化学工業（株）	E
ＮＴＮ（株）	S	スズキ（株）	E
ＥＮＥＯＳ（株）	S	スターライト工業（株）	E
ＥＮＥＯＳ和歌山石油精製（株）	E	(株)スタンダード石油大阪発売所	E
（株）荏原製作所	E	住鉱潤滑剤（株）	D
（株）エフ・シー・シー	E	住友重機械工業（株）	D
エボニック　ジャパン（株）	C	ゼットエフジャパン（株）	E
（株）エリオニクス	D	（株）ソミック石川	E
（株） LSI	E	第一稀元素化学工業（株）	E
オイレス工業（株）	C	大生工業（株）	E
オートマックス（株）	E	（株）ダイセル	E
オスカ化学（株）	E	（株）ダイゾー ニチモリ事業部	E
花王（株）和歌山研究所	E	大同化学（株）技術研究所	E
カーギルジャパン合同会社	E	大同工業（株）	D
川崎重工業（株）	D	大東潤滑（株）	E
（株）川邑研究所	D	大同特殊鋼（株）	E
（株）キッツ	E	大同メタル工業（株）	C

維持会員一覧表

（五十音順　2024年3月31日現在）

会員名	級	会員名	級
（株）ダイナックス	E	日本ピラー工業（株）	E
ダイハツディーゼル（株）	E	日本カニゼン（株）	E
大豊工業（株）	C	日本高周波鋼業（株）	E
高千穂精機（株）	E	日本サン石油（株）	E
（株）タンガロイ	E	日本パーカライジング（株）	E
（株）タンケンシールセーコウ	E	日本ルーブリゾール（株）	B
中央油化（株）	E	パーク・システムズ・ジャパン(株)	E
築野オレオケミカルズ（株）	E	パレス化学（株）	E
（株）椿本チエイン	E	ＢＡＳＦジャパン（株）	E
ＤＩＣ（株）	E	（株）樋口商会	E
ＴＨＫ（株）	E	日立建機（株）	E
ＴＰＲ（株）	E	（株）日立製作所	C
(株)テクノポート	E	日野自動車（株）	E
（公財）鉄道総合技術研究所	E	（株）フジキン	E
デュポンジャパン（株）	E	（株）不二越	E
デュポン・東レ・スペシャルティ・マテリアル(株)	D	冨士ダイス（株）	E
（株）デンソー	D	富士フイルム（株）	E
（株）東芝	E	（株）ブリヂストン	C
東邦化学工業（株）	E	(株)本田技術研究所	A
（株）東洋金属工業所	E	マコー（株）	E
東洋ドライルーブ（株）	E	マツダ（株）	E
トーヨーエイテック（株）	E	丸和物産（株）	E
トヨタ自動車（株）	A	三井化学（株）	E
（株）豊田中央研究所	E	三菱鉛筆（株）	E
トヨタ紡織（株）	D	三菱重工業（株）	A
豊通ケミプラス（株）	E	三菱電機（株）先端技術総合研究所	E
トライス（株）	E	三矢精工（株）	E
（株）酉島製作所	E	ミネベアミツミ（株）	D
日油（株）	E	武蔵精密工業（株）	E
日産自動車（株）	A	(株)村田製作所	E
日清紡ブレーキ（株）	E	（株）ＭＯＲＥＳＣＯ	C
（株）ニッペコ	E	ヤマハ発動機（株）	E
日本アイ・ティ・エフ（株）	E	ヤンマーホールディングス(株)	E
日本オイルポンプ（株）	E	（株）ＵＡＣＪ	E
日本クエーカーケミカル（株）	E	ユシロ化学工業（株）	E
日本グリース（株）	C	ユニオン石油工業（株）	E
日本ケミカルズ販売（株）	E	（株）リケン	E
日本精工（株）	S	（株）リコー	E
日本製鉄(株)	E	リョービ（株）	E
日本トムソン（株）	E	(株)レゾナック	E
日本ピストンリング（株）	E		

発行日 2024 年 5 月
発行　一般社団法人日本トライボロジー学会
https://www.tribology.jp
〒105-0011　東京都港区芝公園 3-5-8
機械振興会館 407-2
TEL: 03-3434-1926　FAX: 03-3434-3556
E-mail: jast@tribology.jp